

吉田 範雄さんのページ

紙飛行機を飛ばして気分爽快に！



紙飛行機との出会いは、平成16年11月に頸椎後縦靱帯骨化症（厚生労働省認定）難病の手術をしましたが、以後順調に回復するも、大好きなゴルフ、へら鮎釣り等がままならず、されど家に籠もるのも体をもてあましていたおり、落合公園にぶらりと散歩に出かけグラウンドで紙飛行機を飛ばしているのを見かけ、興味深く見ているうちに、顔見知りの方がおられたので声を掛け、その方の勧めで指導を受け楽しむようになったということからです。

子どものころ、広告紙で紙飛行機を折って飛ばした覚えはありますが、この紙飛行機はいかに高く飛ばすか、滞空時間を長くするかを競い合う競技が目的の紙飛行機で、製作もクラフト紙を使い、胴体部分にバルサ材を使うなど、空力学的にも考慮しデザインされた、なかなかの代物です。

私も一時は、同好会の「紙飛行機を飛ばす会 愛知」に入会し、月例会で競技会に参加したこともありましたが、今は自分の趣味として時折広場で独り楽しむ程度にしています。

私の記録で一番は、森林公園にて飛ばした折、うまく気流にのり果てしなく飛び去ってしまい計測不能（当然回収も不能）となりました。製作は比較的簡単で、キットを東急ハンズなどで買ってくるか、あるいはインターネットなどで型紙を入手し、真似て製作するなど、接着剤とハサミを駆使すれば、簡単なものでは30分程で出来上がります。ただ、うまく飛ばすためには翼の曲げ加減や傾きを調整するなど、経験とコツが必要です。

種類としては1000機を越えるものがあるそうですが、これまで製作したものは35機程度です。

青空のもと、広場で空に向かって思い切り投げ上げ（主にはゴムカタパルトを使う）、高く遠く滑空する飛行機を追いかけているときの気分は爽快で、あれやこれやと手を加えたり、愛機をとっかえひっかえしていると、子どもの頃に帰ったようで時の経つのを忘れます。いつか私のユニークなデザインのオリジナル機を製作し、飛ばしてみたいと思っています。興味がおありの方は是非一緒に飛ばしてみませんか。もっと詳しくお知りになりたい方は次のリンク先を参考にしてください。



市販されているキット



製作した紙飛行機の一部

